



東証一部（証券コード 6848）

アナリスト・機関投資家向け 会社説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2020年12月2日

代表取締役社長 高橋俊夫

- 1. 会社概要**
- 2. 2020年度上期の業績および
トピックス**
- 3. 2020年度通期業績予想**

「水・大気・医療・ガス」分野の総合計測機器メーカー TOA DKK

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに
地球環境保全と豊かで人にやさしい
社会環境の実現に貢献します。

概要

代表取締役社長： 高橋 俊夫

所在地： 東京都新宿区高田馬場一丁目

設立： 1944年9月

資本金： 18億4,248万1千円

従業員数： 連結662名 単独428名

事業所：
▶狭山市：狭山テクニカルセンター
（開発研究センター、
医療関連機器生産棟）
▶東大和市：東京エンジニアリング
センター

営業拠点： 国内11か所

連結子会社： 国内4社

略歴

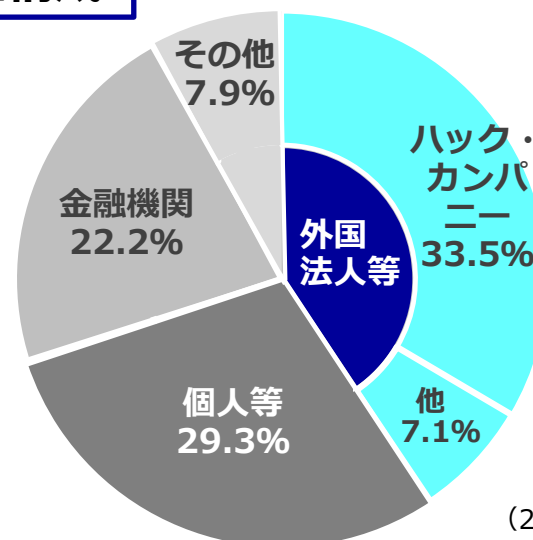
2000年 東亜電波工業と電気化学計器（DKK）
が合併し、東亜ディーケーケー 誕生

2005年 米国ハック・カンパニー（HACH）と
業務・資本提携

2013年 東証第一部指定銘柄

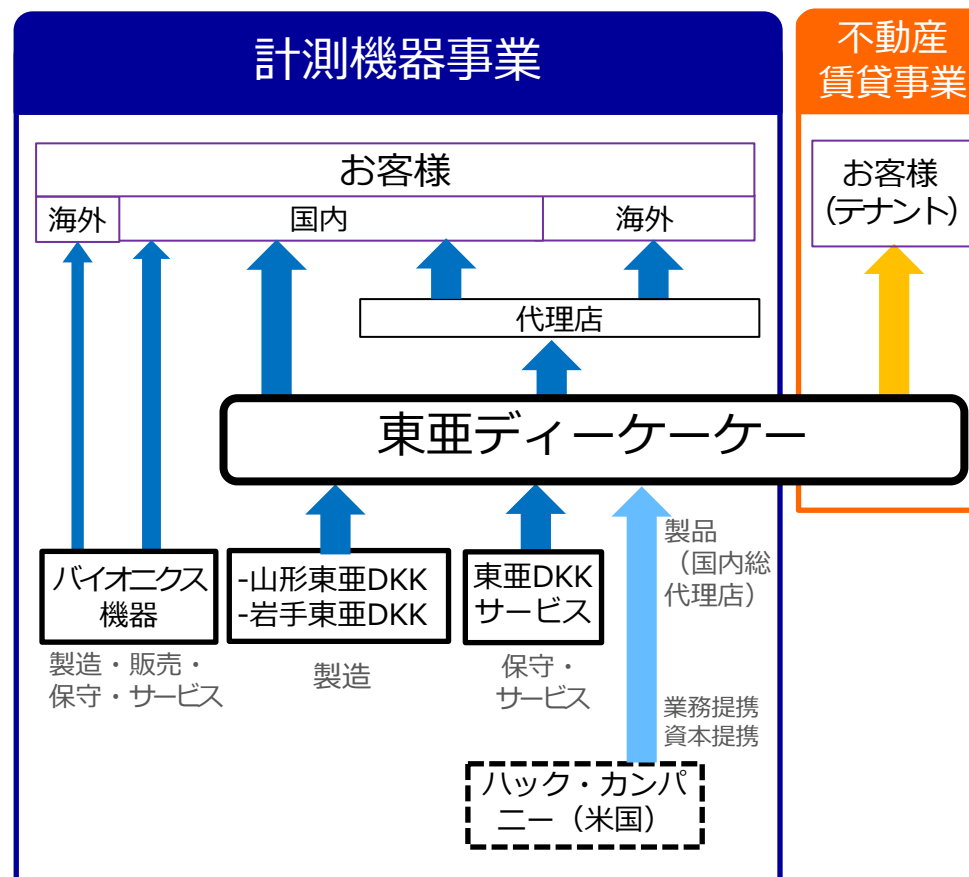
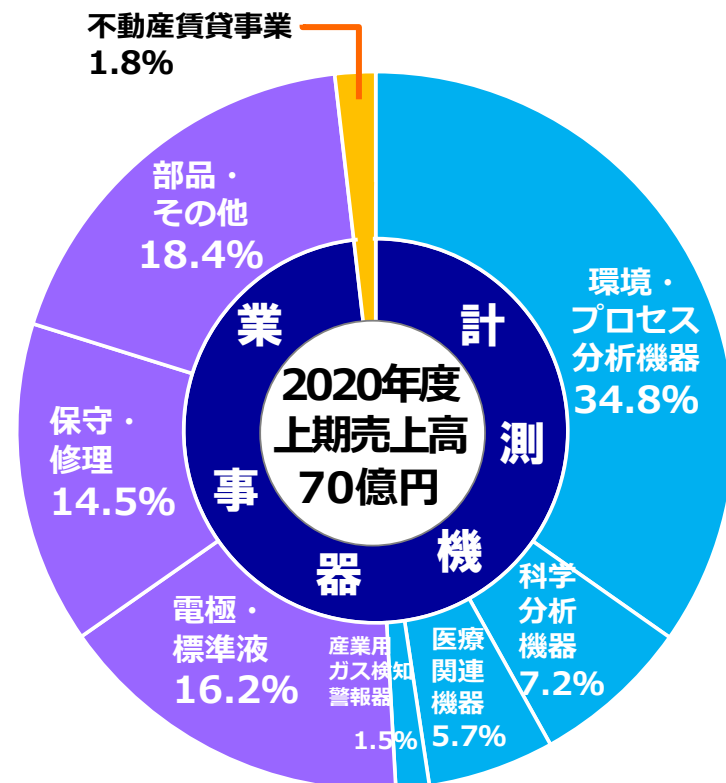
2014年 創立70周年

株主構成



（2020年9月末現在）

売上構成と事業系統



当社の強みと計測機器の用途分野



当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 公的機関から幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス（保守・修理）までの一貫体制

水		大気	医療	ガス
環境・プロセス分析機器			医療関連機器	産業用ガス検知警報器
 水道水用水質自動測定装置		 PM2.5測定装置 国内シェアNO.1	 透析用薬剤溶解装置	 ケミルミアルシン計
 pH計変換器		 大気SO ₂ SPM測定装置	 エンドトキシン計	
 電気伝導率計				
 油膜検知器				
科学分析機器				
 ラボ用水質計				
 ポータブル用水質計				

合併後20年の歩み



会社



2000年
合併



2005年
ハック社
と提携



2010年
開発研究
センター
完成



2013年
東証一部
に上場



2017年
医療関連
機器生産
棟完成

事業



2002年
第5次水質総量規制
にいち早く対応した
「全窒素・全りん/
COD自動測定装置」



2008年
端末監視で国内トッ
プの座を確立した
「水道水用水質自動
測定装置」



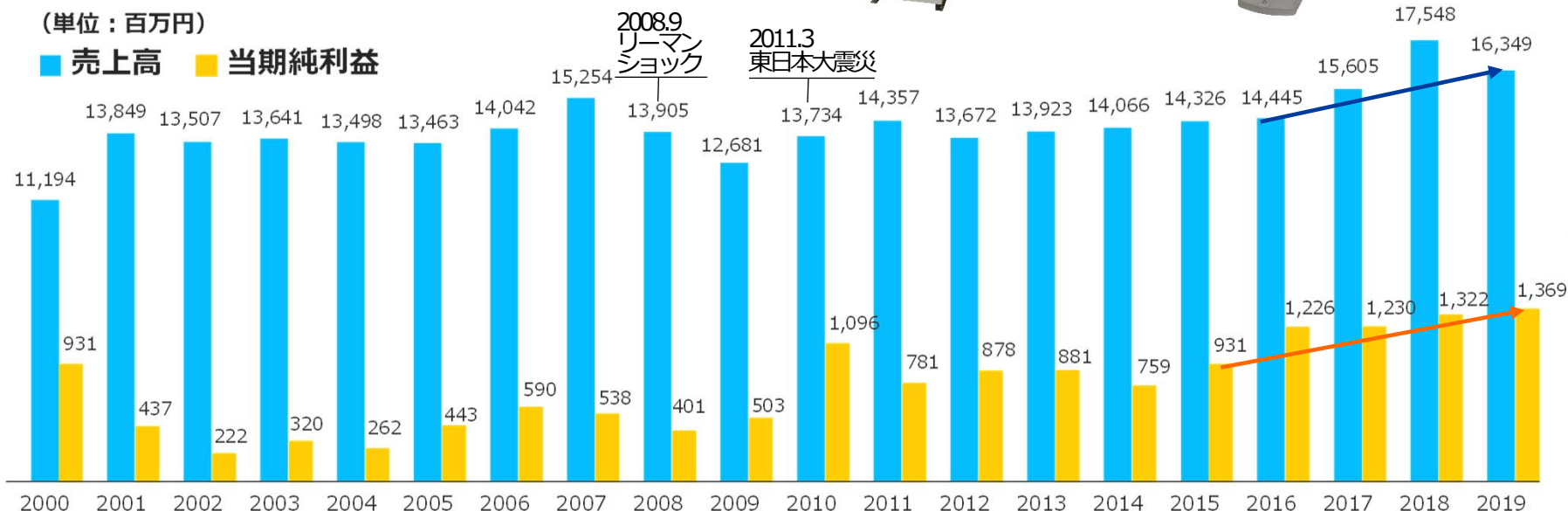
2009年
PM2.5の環境基準が
制定され、国内トッ
プシェアを獲得した
「微小粒子状物質
自動測定装置」



2018年
メタウォーター社
より水道水水質計
事業を譲受

(単位: 百万円)

■ 売上高 ■ 当期純利益



1. 会社概要
2. **2020年度上期の業績および
トピックス**
3. 2020年度通期業績予想

2020年度上期実績



■売上高：コロナ禍により国内売上が低迷し減収

（国内）官公需は例年並みも、民需の低迷を受け減収

（海外）経済活動再開により中国水質計回復、韓国・台湾での需要が回復し増収

■営業利益：原価・経費の低減により増益

☞ 単月黒字化 133か月 連続記録更新中（2009年9月から11年1か月）

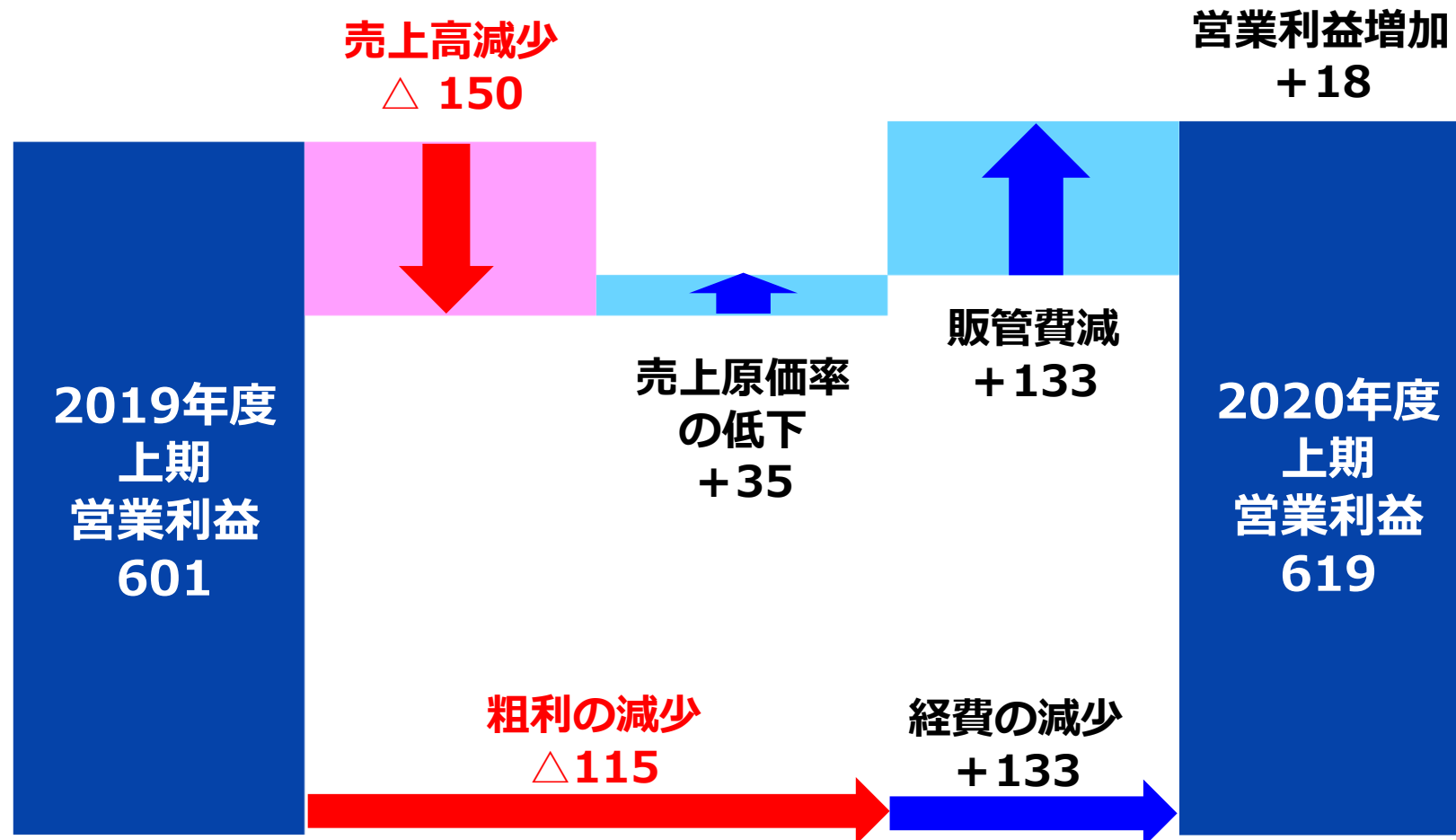
（単位:百万円）

	2019年度 上期実績	2020年度 上期実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	7,482	7,085	△397	△5.3%
営業利益 売上高比	601 8.0%	619 8.7%	18	+3.1%
経常利益 売上高比	651 8.7%	646 9.1%	△5	△0.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	398	438	39	+9.8%

営業利益増減分析（前年同期比）



（単位:百万円）



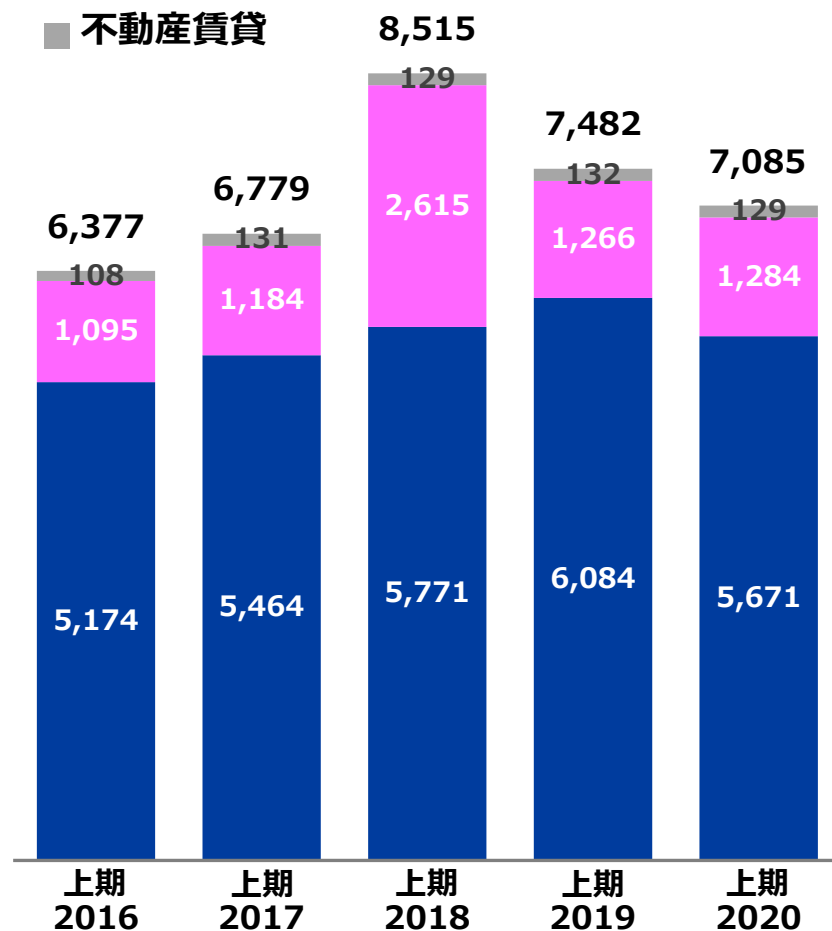
国別売上高推移



(単位:百万円)

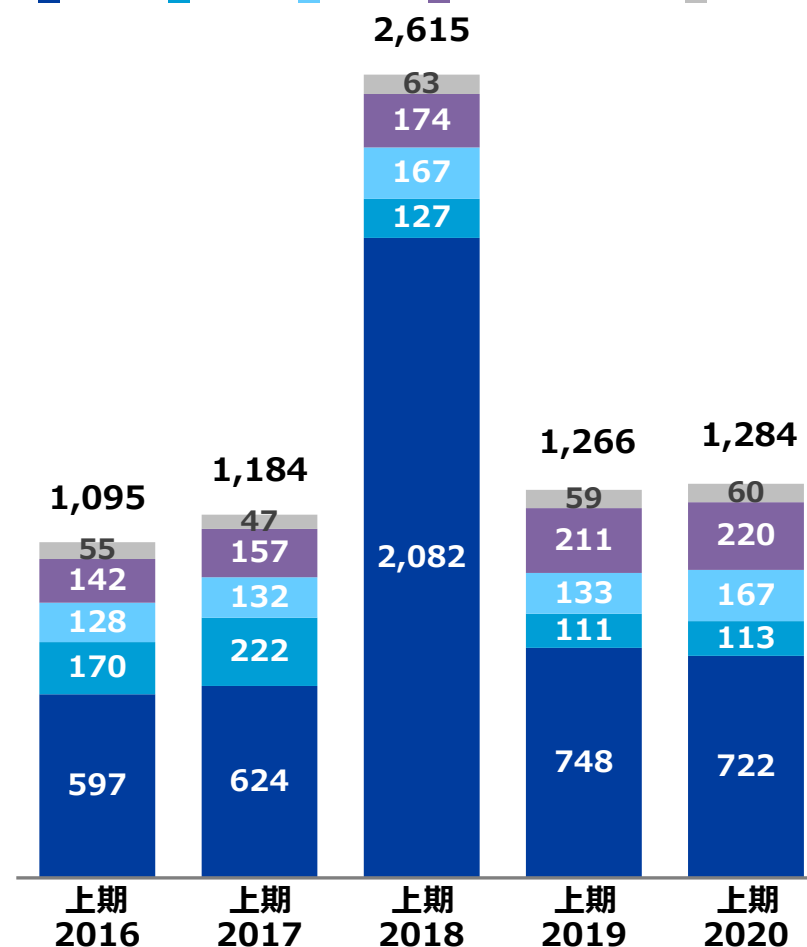
国内外の売上高

■ 計測機器：国内 ■ 計測機器：海外
■ 不動産賃貸



海外の国別売上高

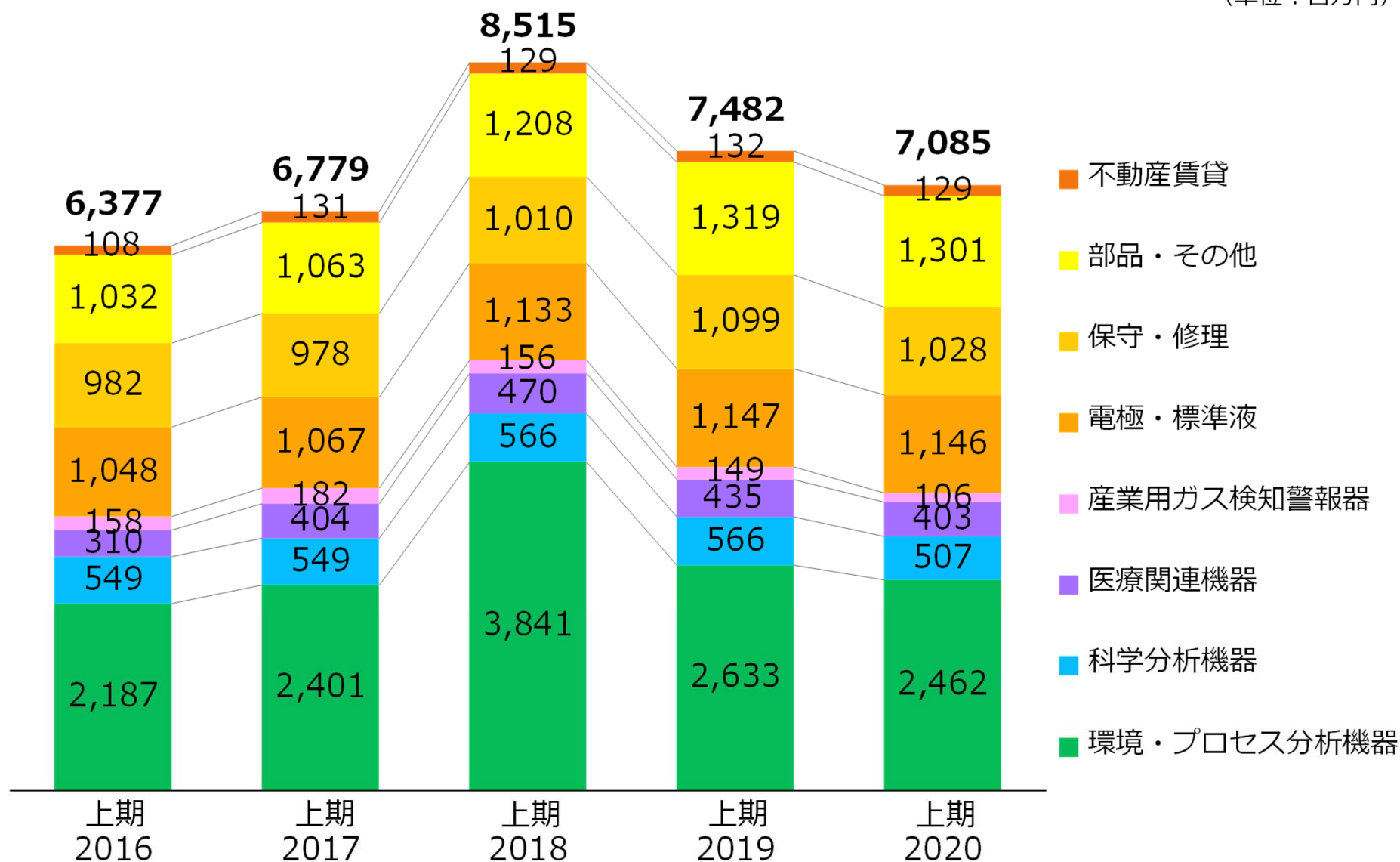
■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ その他アジア ■ その他



分野別売上高構成推移

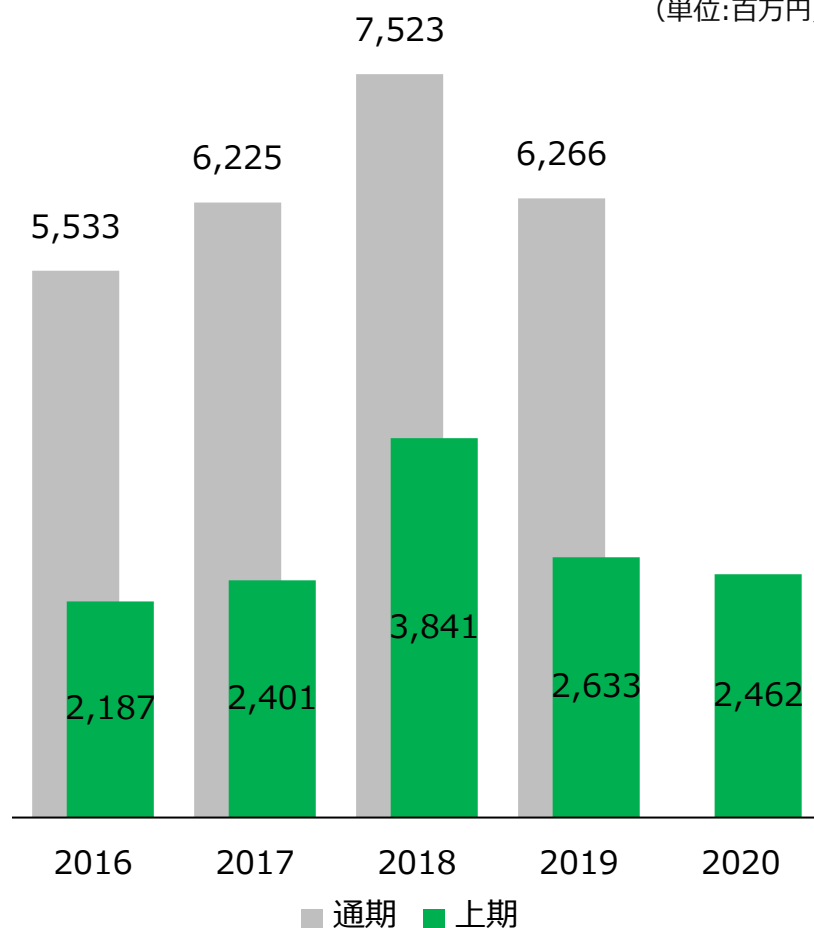


(単位：百万円)



環境・プロセス分析機器売上高

(単位:百万円)



■ 前年同期比

△6.5%

(2019年度上期 vs 2020年度上期)

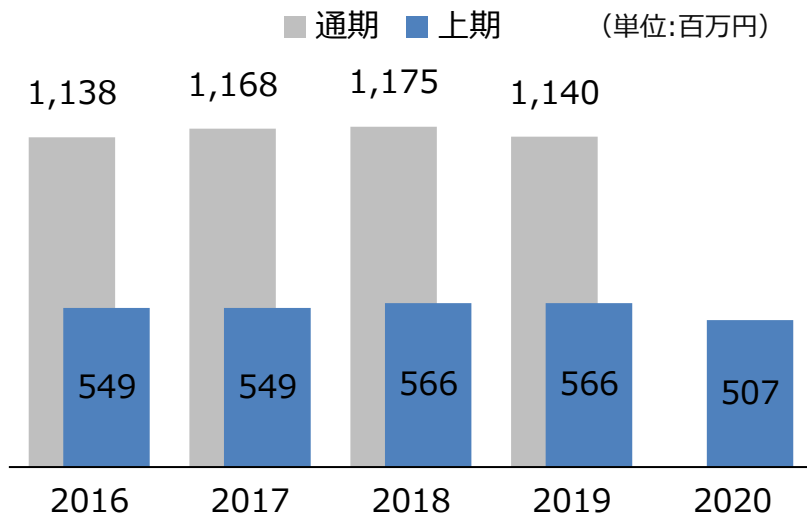


- 国内：民間企業向け基本プロセス計測器や環境用水質分析計の販売が減少
- 海外：経済活動を再開した中国、半導体関連設備投資の好調な台湾向けが堅調



- 国内：コロナ禍の影響が少なく、前年同期と同じ売上高を確保
- 海外：インドへの販売が好調

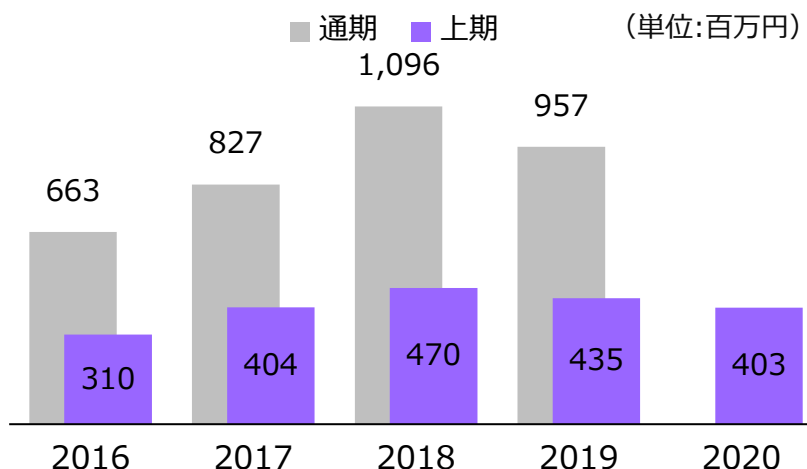
科学分析機器売上高



■ 前年同期比 $\triangle 10.4\%$
(2019年度上期 vs 2020年度上期)

- ポータブル分析計の研究機関からの引き合いが弱く減収
- ☞ 下期はキャンペーンやWeb広告を強化

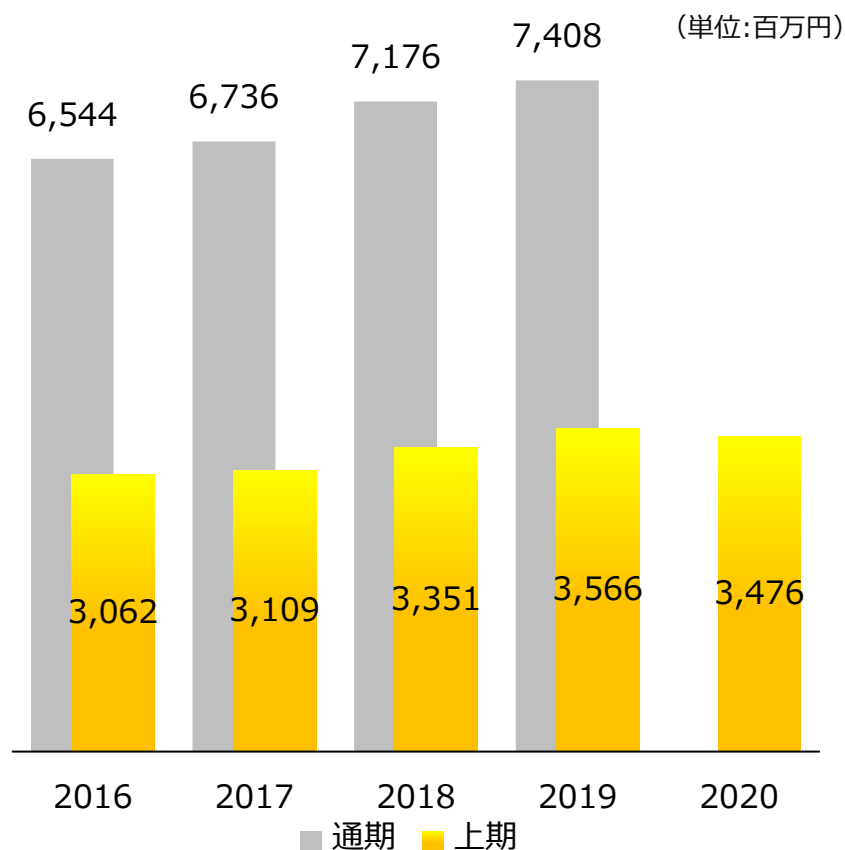
医療関連機器売上高



■ 前年同期比 $\triangle 7.4\%$
(2019年度上期 vs 2020年度上期)

- 病院の新規・買い替え需要が減少
- ☞ 透析システムメーカーの海外展開を後押し

保守・補用品売上高



■ 電極・標準液

前年同期比 $\triangle 0.0\%$
(2019年度上期 vs 2020年度上期)

■ 保守・修理

前年同期比 $\triangle 6.5\%$
(2019年度上期 vs 2020年度上期)

■ 部品・その他

前年同期比 $\triangle 1.4\%$
(2019年度上期 vs 2020年度上期)

- コロナ感染症拡大防止に伴う点検の延期により、全体で前年同期比2.5%減
- ☞ 保守・点検等のアフタービジネスの拡大を促進

デジタルチャネルの強化（Webマーケティング等）



Webセミナー



海外代理店向け
オンライン保守研修



Web広告宣伝
(イプロス内の当社専用サイト)



カタログの拡充

SalesforceとDBS※の活用で受注確保へ

※Danaher Business System (DBS)



科学分析機器の販促キャンペーンの展開



マルチ水質計
Xシリーズ
発売5周年



ポータブル水質計
P40シリーズ
発売1周年



環境用大気測定装置を 大気汚染が深刻なインドで 拡販

二酸化硫黄 (SO_2)、窒素酸化物 (NO_x)、
10 μm 以下の粒子状物質 (PM10) などを測定



環境大気モニタリングシステム



環境大気測定車



PM2.5測定装置（韓国対応モデル）が 仁川国際空港のPM2.5濃度監視用に 採用

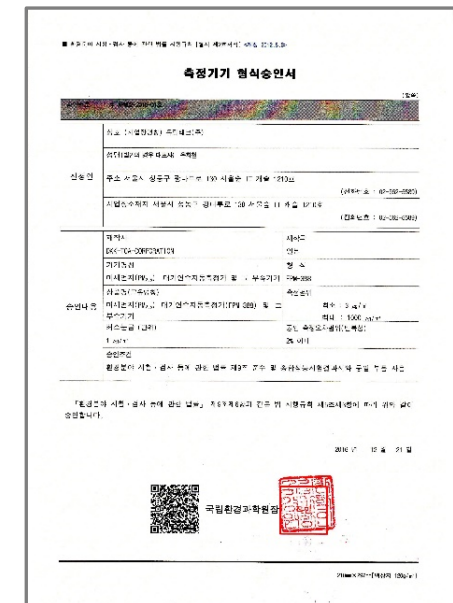
7月の説明会でご報告



韓国の地下鉄駅
9か所に採用



仁川国際空港
に設置



国家認証書

環境保全

東京グリーンシップ・アクションに参加

八王子大谷
緑地保全地域の
里山保全活動



社会との共生

内閣府・経済産業省などによる 「パートナーシップ構築宣言」 を公表

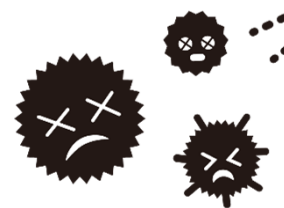


地域貢献

当社製の次亜塩素酸ナトリウム 活性水を狭山市の小中学校や 水俣市などへ寄付



消毒・除菌に
優れた効果を発揮



当社が販売する
次亜塩素酸ナトリウム
活性化装置

1. 会社概要
2. 2020年度上期の業績およびトピックス
- 3. 2020年度通期業績予想**

2020年度通期業績予想



11月26日公表

- 国内：官公庁向け需要は例年並みだが、民間企業向けは設備投資計画の見直し等で苦戦
- 海外：経済が正常化つつある中国、韓国、台湾、インドなどを中心に売上が回復し、昨年並みの売上を確保

(単位:百万円)

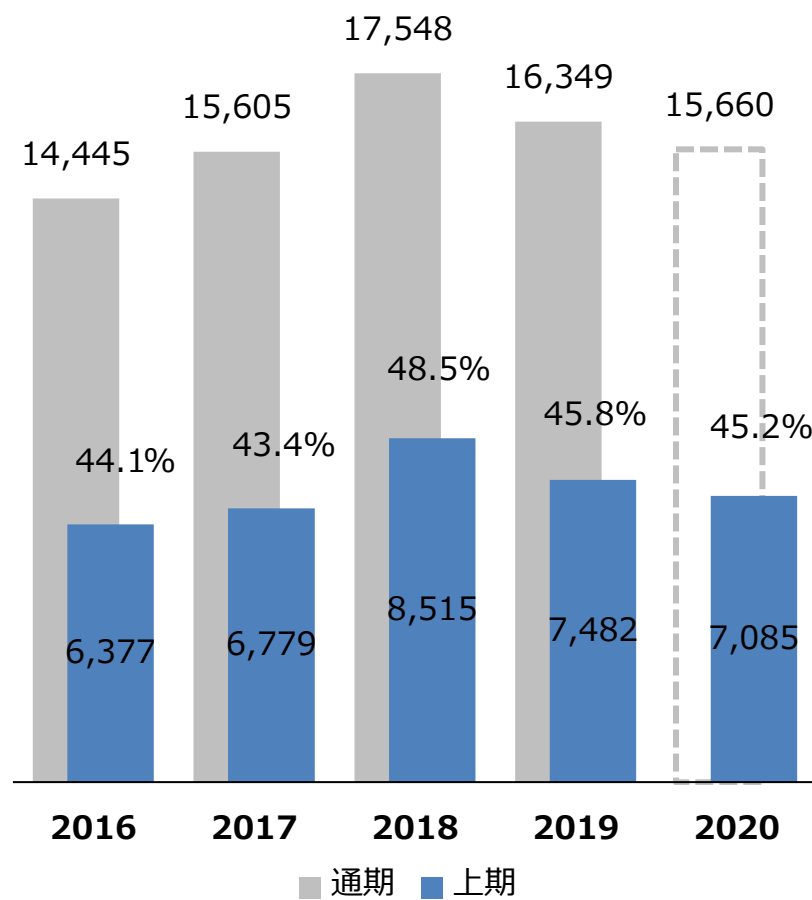
	2019年度 実績	2020年度 予想	前期比増減	
			金額	率
売上高	16,349	15,660	△689	△4.2%
営業利益 売上高比	1,834 11.2%	1,520 9.7%	△314	△17.2%
経常利益 売上高比	1,918 11.7%	1,560 10.0%	△358	△18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,369	1,100	△269	△19.6%

売上高・営業利益の推移

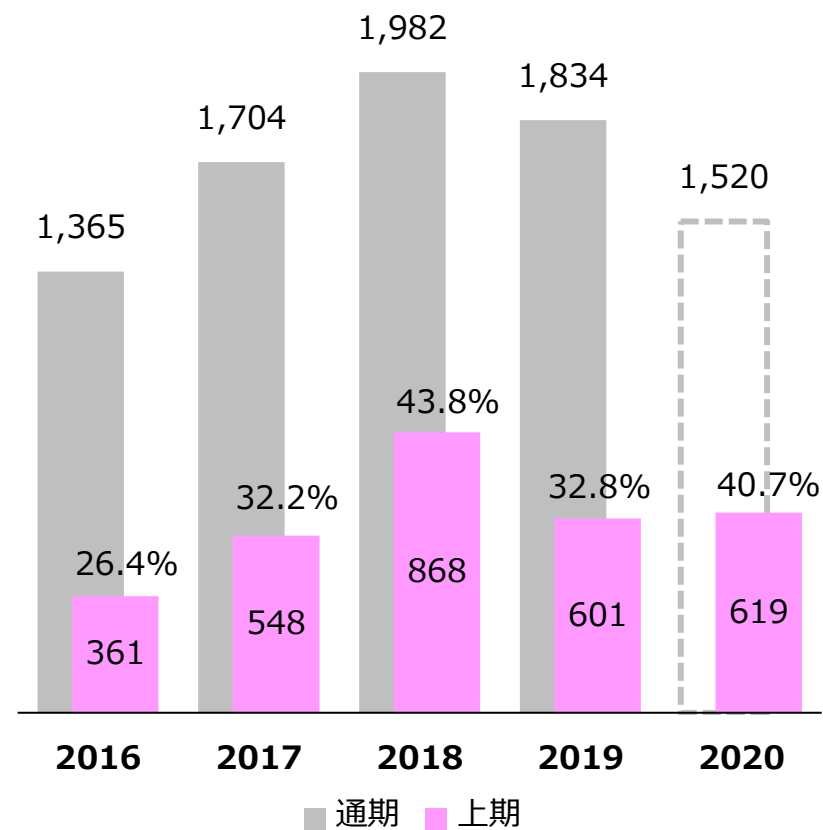


(単位:百万円)

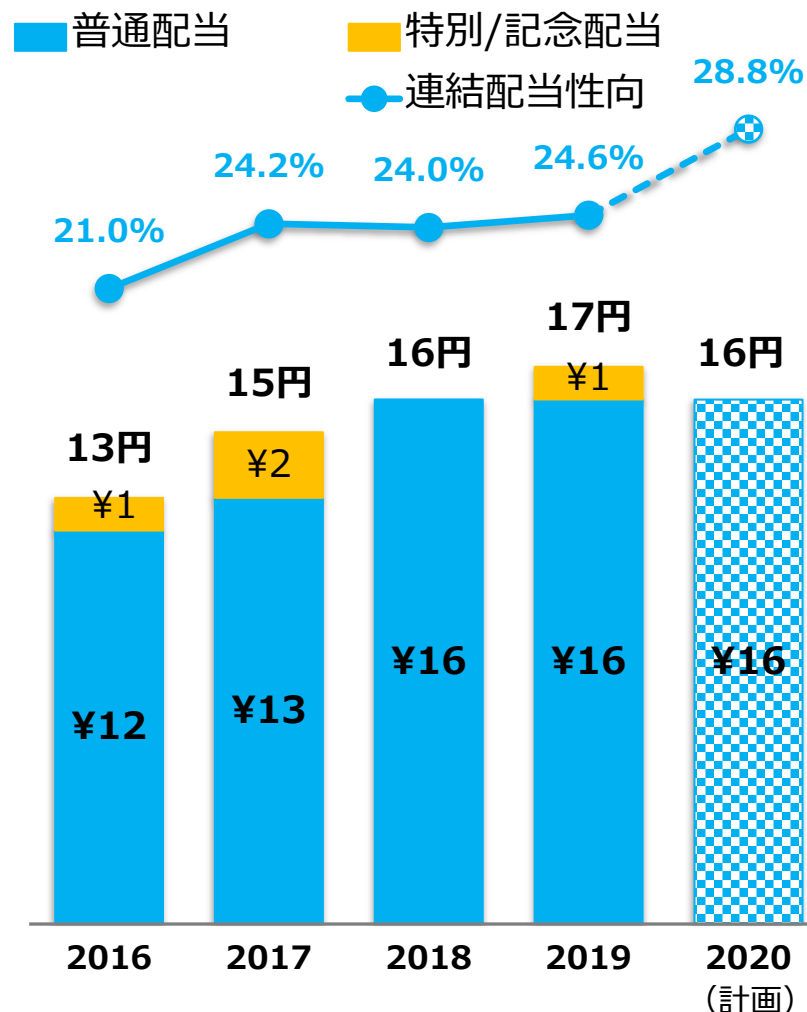
売上高



営業利益



一株当たり配当金推移



株主優待

毎年9月末現在の株主名簿に記載の株主さまに「緑の募金」付クオ・カードを進呈

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	500円分
500株以上1,000株未満	1,000円分
1,000株以上	2,000円分



合併20周年 「抽選式記念株主優待」実施

- 対象：2021年3月末現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主さま
- 内容：抽選で100名様に山形県の名産品（カタログギフト）を進呈



記念株主優待
イメージ

ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
また、諸比率は円単位で算出の上、小数点第2位を四捨五入しております。そのため合計値が100.0%とならない場合があります。
4. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
5. 業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
6. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部
メール：ir@toadkk.co.jp